図書館だより

2021 年 10 月号 No.416

発行／静岡市立図書館　　編集／中央図書館

いのち Lifeを大切に
くらし Lifeも大切に

移動図書館車の歴史

移動図書館車とは、図書館から遠い地域や学校へブックモビル（マイクロバスの改造車）などで本を運び貸出しを行う、「動く図書館」のことです。実はこの移動図書館車、静岡市ではずいぶん前から市内を走っています。

こちらは最初の移動図書館車である、１代目「たちあおい」です。中央図書館で昭和 54 年９月から運行を始め、2,000 冊の図書を載せて６か所のステーションを月２回巡回していました。

平成元年には２代目「たちあおい」に代替わりし、車体の外側が大きく開閉し書棚を配置できるようになったため、3,500 冊の図書を運べるようになりました。

平成５年１月には、新たに南部図書館で３代目の移動図書館車が巡回を開始しました。公募で決まった愛称の「はまかぜ」は、久能から用宗までの海岸沿いを走る移動図書館車にふさわしい名前でした。

その後、平成９年４月に長田図書館が開館したことに伴い、移動図書館車は中央図書館に統合しました。

現在の４代目移動図書館車は平成 18 年 12 月 20 日に誕生し、公募により「ぶっくる」と名付けられました。18 ステーションを月２回巡回し、「働く車展」などのイベントでも活躍しています。

図書館へ足を運ぶのが難しい方、「ぶっくる」が巡回している地域にお住まいではありませんか。巡回場所や巡回日は図書館のホームページから見ることが出来ます。ぜひご利用ください。

参考資料：『静岡市立図書館 30 年のあゆみ』静岡市立図書館 30 年誌編集委員会 静岡市立中央図書館 1999 年 S010／シ

漆原（うるしばら） 宏（ひろし） 写真展

「ぼくは、図書館がすき」

みなさんは、写真家・漆原宏さんをご存知ですか。漆原さんは 1976 年から 40 年以上、「図書館の写真」を撮り続けてきた写真家です。「図書館の写真」といっても、建物や施設の写真ではありません。漆原さんが撮ってきたのは「図書館にいる人」が中心なのです。

日本各地の図書館をまわり、図書館利用者の動きや表情、職員の仕事ぶりをカメラに収めてきました。ファインダー越しに人々の動きをじっと見ていると、その図書館の良さが見えてくるのだそうです。

漆原さんの「図書館の写真」は、『図書館雑誌』（日本図書館協会）で 1991 年から 2016 年まで毎月掲載されていました。写真を楽しみにしていた読者もたくさんいました。

このたび、静岡図書館友の会のご協力により、中央図書館で**漆原宏写真展「ぼくは、図書館がすき」**を開催することとなりました。この機会にぜひご覧ください。

展示期間 ： 第１期　10 月 12 日（火）～10 月 26 日（火）
第２期　10 月 28 日（木）～11 月 7 日（日）

※第１期と第２期で写真の入れ替えを行います。お見逃しなく！

展示場所 ： 中央図書館　１階 玄関ホール展示コーナー

【漆原宏さんの図書の紹介】

『ぼくは、図書館がすき』―漆原宏写真集
漆原宏／著　日本図書館協会　2013 年　016.21／ウ

『ぼくは、やっぱり図書館がすき』―漆原宏写真集
漆原宏／著　日本図書館協会　2017 年　016.21／ウ

『地域に育つくらしの中の図書館』―漆原宏写真集
漆原宏／著　ほるぷ出版　1983 年　016.21／ウ

『図書館づくり運動実践記』―三つの報告と新・図書館づくり運動論
扇元久栄,栗原進,盛泰子,漆原宏／共著　緑風出版　1997 年　016.2

≪図書館ＨＰ（ホームページ）アドレス≫

・パソコン https://www.toshokan.city.shizuoka.jp/
・携帯 https://www2.toshokan.city.shizuoka.jp/winj/mobileopac/top.do

静岡市立図書館の情報はこちらから

Web サイト　Twitter

静岡市立中央図書館　〒420-0884　静岡市葵区大岩本町 29－１(054-247-6711)
御幸町図書館(054-251-1868) 藁科図書館(054-278-4100) 西奈図書館(054-265-2556)
北部図書館(054-653-1817) 南部図書館(054-288-2151) 長田図書館(054-259-7878)
清水中央図書館(054-354-1331) 清水興津図書館(054-360-4311)
蒲原図書館(054-388-3456) 麻機分館(054-248-5035) 美和分館(054-296-6501)